

動物実験委員会の開催日及び審議事項

	第1回動物実験委員会	第2回動物実験委員会
開催日	平成22年7月29日	平成22年12月17日
開催場所	事務局第6会議室	※メール会議
審議事項等	1) 平成21年度自己点検・評価について 2) 学外の者による検証について 3) 飼養保管マニュアルの適正化について	1) 平成21年度自己点検結果の公開について 2) 「飼養保管施設設置承認申請書」関連書類の主な判断基準(案)等について 3) 飼養保管マニュアルについて 4) 学外者による検証へのスケジュールについて

動物実験の新規承認件数及び変更承認件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規承認	11	7	5	6	4	2	5	5	4	2	11	6	68
変更承認	6	8	13	7	3	4	5	4	5	10	7	3	75

動物種ごとの飼養保管状況

	マウス	スネズミ	ハムスター	ラット	モルモット	トリ	ウサギ	ネコ	サル	イヌ	ヒツジ	ブタ	合計
匹数	69,037	210	1	10,342	8	0	209	4	2	1	0	112	79,926

動物実験により得られた成果

発表論文件数 ※（ ）は投稿中で内数	発表学会件数	学会賞の受賞等
147 編（24 編）	57 回	1 件

教育訓練実施状況

動物実験施設

開催日	平成22年4月2日	平成22年4月13日	平成22年4月14日
受講者数	2名	25名	10名
開催日	平成22年4月15日	平成22年6月30日	平成22年7月1日
受講者数	19名	14名	12名
開催日	平成22年7月2日	平成22年7月23日	平成22年7月27日
受講者数	12名	2名	7名
開催日	平成22年7月30日	平成22年8月20日	平成22年8月24日
受講者数	2名	1名	5名
開催日	平成22年9月13日	平成22年11月19日	平成22年12月10日
受講者数	2名	7名	50名
開催日	平成23年1月18日	平成23年2月16日	
受講者数	15名	12名	

環境科学部

開催日	平成22年4月16日	平成22年4月22日	平成22年7月29日
受講者数	9名	1名	1名

水産学部

開催日	平成22年5月25日
受講者数	35名

動物実験に関する自己点検結果

○ 安全管理の状況

1. 安全管理の必要な動物実験（感染・組換え・放射線・発癌等化学物質）について、適切に管理されていた。
2. 必要な安全設備や衛生設備は整備されていた。

○ 実験動物の飼養保管状況

1. 飼養保管施設の管理及び保守点検は行われていた。

【取り組み例】

- ・ 飼育室の温度、湿度をモニターしている。
- ・ 朝晩定期的にチェックしている。

2. 飼養保管中の動物の数や状態については、管理されていた。

【取り組み例】

- ・ 台帳（動物飼育・実験記録簿）により搬入・処分記録を残し、飼育動物数を把握している。
- ・ 毎週、飼育状況を点検している。

3. 実験動物管理者が全記録を保有しており、飼養保管状況に問題はない。

【取り組み例】

- ・ 動物納品書の写しも残している。

4. 動物の逸走等に関する事故については、管理されていた。

【取り組み例】

- ・ 飼養室には逸走防止柵を常時設置しており、飼養室内でも逸走があれば報告を受けることにしている。

○ マニュアルの記載内容について

1. いずれの施設も適正な飼養保管を行うためのマニュアルが作成されていた。学外の者による相互検証に向け、動物実験委員会がその内容を調査する。

【取り組み例】

- ・ サル脱走時の対応については、別途マニュアルを作成している。
- ・ 大災害発生の緊急時の危機管理の一つとして、逸走防止措置と逸走時の対応について、利用者の目に留まる掲示板上に常時示している。

○ 施設等の維持管理の状況

1. いずれの施設も概要を示す平面図を有し、維持管理されていた。